

〈隷書〉

虹 雨
横 打
複 江
道 潮
中 帶
天 月
斷 收

井之上 南岳 先生書

(この課題で書体は自由。但し、この課題は一人一点のみとする)

半折作品は各課題ごとに横／＼に一枚ずつたたんで提出ください。

〈楷書〉

虹 雨
横 打
複 江
道 潮
中 帶
天 月
斷 收

小 畠 秋 聲 先生書

□ 虹は複道に横り天に中つて断え 雨は江潮を打つて月を帯びて収まる (王鎔)

次号予告「倚樹或聽流水韻 看書時坐古松陰」

〈行書〉

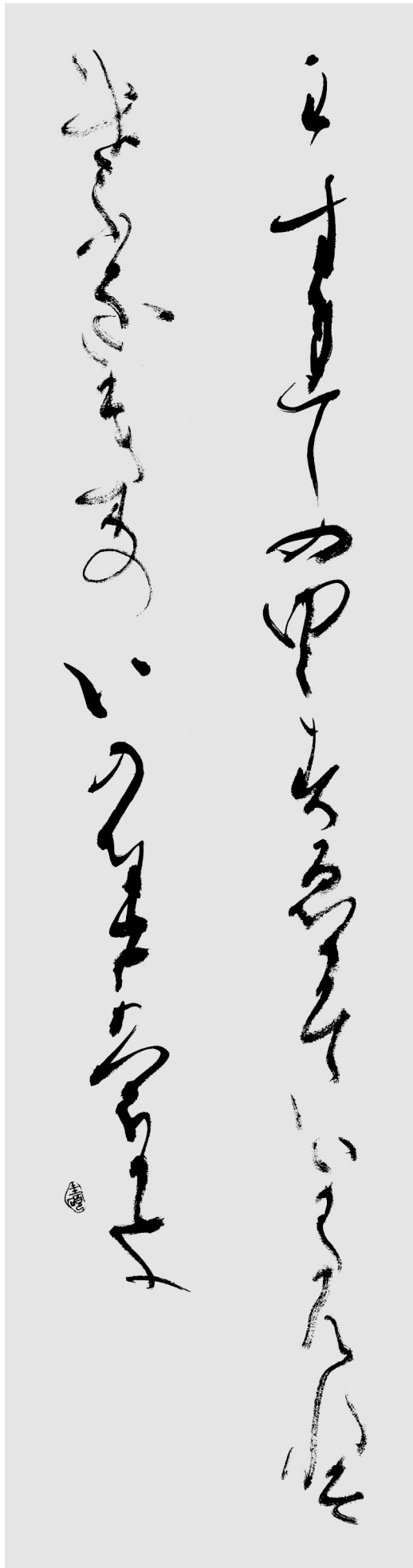
山本飛雲先生書



▽虹の橋は複道のようにかかって中天にて切れ、雨は入江の潮を打ちさわがせたが、月のでとともに晴れた。

条幅随意（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

舟尾圭碩先生書



□王^わす連^れしの ゆく^す春^はゑまで八 可^か多^た介^けれ盤^は遣^けふを可^かきりの い^いの遅^ちと裳^も可^かな
忘れしの ゆくすゑまでは かたければ 今日をかきりの いのちともかな
△百人一首五十四▽

清原大龍先生臨

聖札飛毫動雲龍之氣象天文挂塔

吉田成堂先生書

向日葵と喜して、
阿蘇の山
に背向け
花に
十萬

□ 安永ふきこ路子のうた 向日葵と 言ひつゝ阿蘇は 天日に 背そむ向けたる 開花十萬

《手本（課題例）にとらわれず意欲的な作品を期待します。》

半折作品は各課目ごとに横 $\frac{1}{8}$ に一枚ずつたたんで提出ください。

条幅随意参考手本（半折 $\frac{1}{2}$ 横のみ） — 8月30日締切 —

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

《手本（課題例）にとらわれず意欲的な作品を期待します。》



清原大龍先生

□ 岸風三樓の句

ジョッキ宙に
合する音を一
にせり

夏だね。暑いね。
ビールだね。
と昔はよく言
ったものです。
祇園太鼓を聞
きながら飲ん
だこともあり
ました。ジョ
ッキのカチン
という響き、
心地良い一刻
でした。そん
なことを思い
ながら書作し
てみましたが。



吉田成美先生

□ 博聴
はくちよう

広く人の言う
ことを聴く。

後漢の隸書を
規範に書いて
みました。
やや硬めの兼
毫筆（巾12×
長さ60ミリ）
を使用。
回りの空間を
意識し、多墨
でゆつたりと
重厚な作品に
心がけました。
いろいろな古
典を参考に書
作してみても
下さい。
「博」の筆順に
注意。

※半折 $\frac{1}{2}$ 横
の出品票
は作品の
左下に貼
って提出
下さい。

(この課題で書体は自由。但、この課目は一人一点とする)

幾鋒不可觸

成美書
吉田成美

□ 幾鋒觸るべからず（宋・蘇東坡）
気が鋭く、才気の煥発なこと。

(この課題で書体は自由。但、この課目は一人一点とする)

□ 機鋒触るべからず(宋・蘇東坡)
気が鋭く、才気の煥発なこと。

可機鋒觸るべからず

吉田成美書

次号予告「劍鳴秋氣來」

吉田成美先生書

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

□ 閑邪存誠 邪を閑^{ひそ}めて誠^{まこと}を存^{ぞん}ず
邪心を防ぎ、誠実な心を堅持する。
(「易経」乾卦)

閑邪存誠

大嶽
書

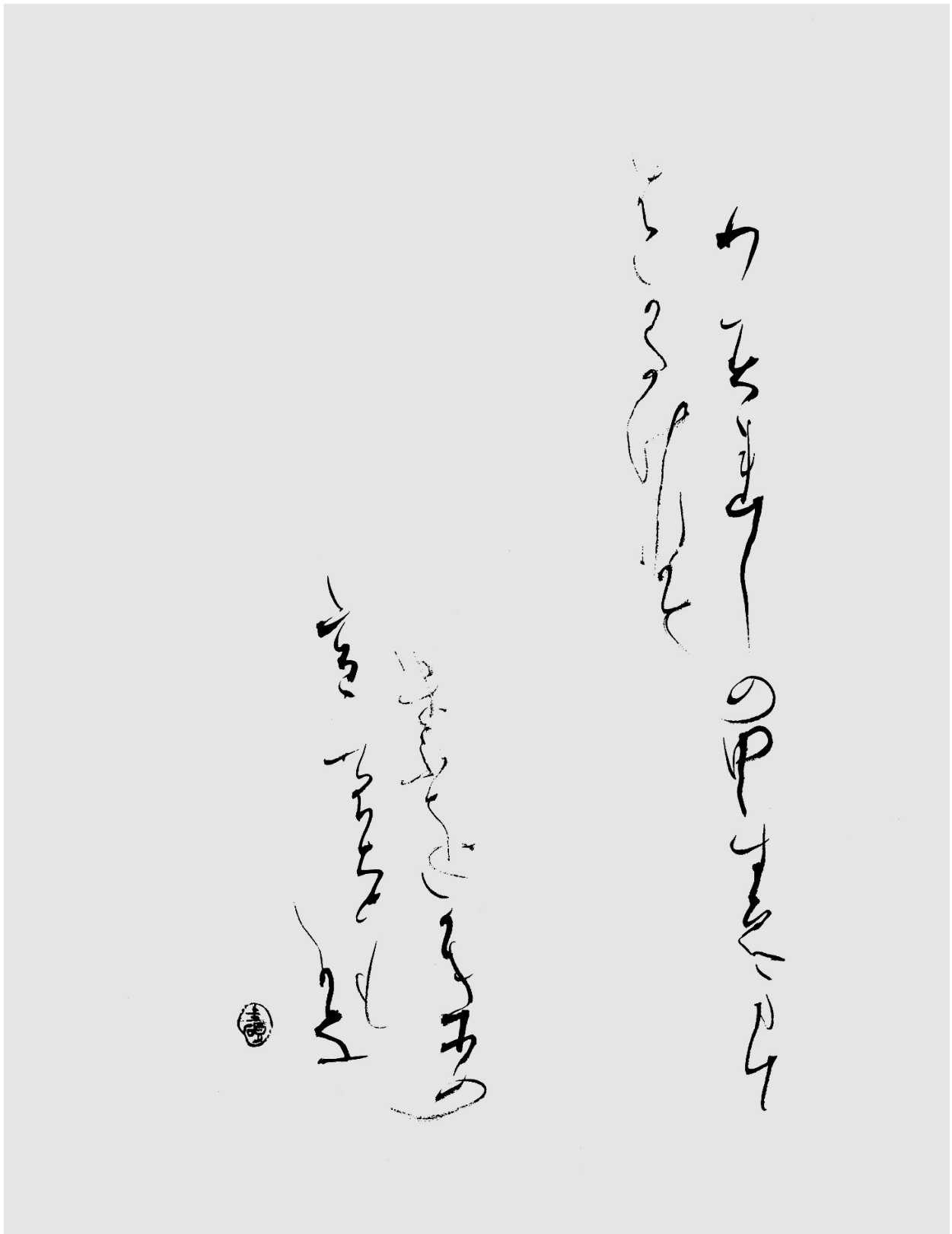
次号予告「天氣澄和」

渡 邊 大 嶽 先 生 書

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

△仮名▽

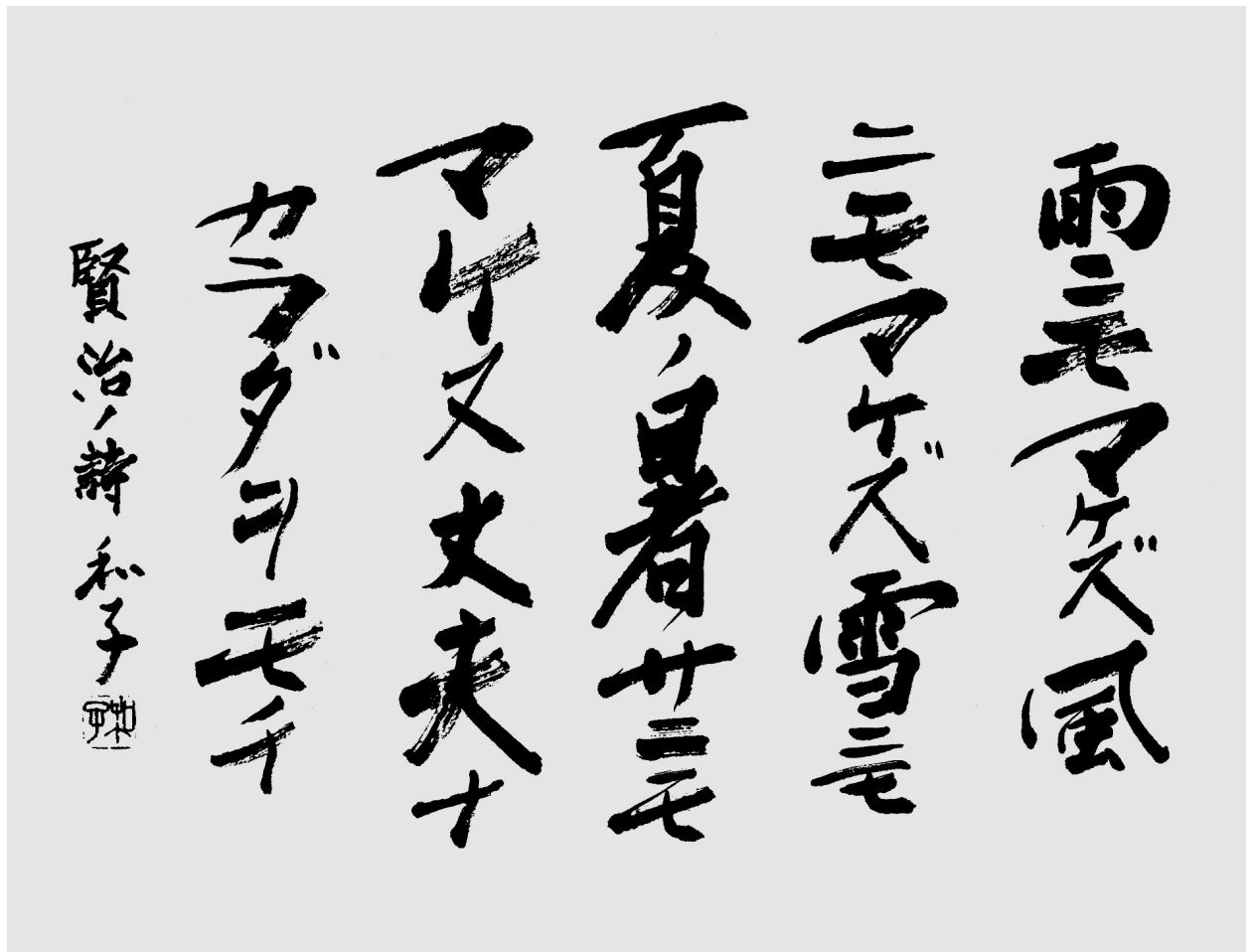
忘れしの ゆくすゑまでは かたければ 今日をかきりの いのちもかな



□ わ春連しの ゆくすゑ万て者 可多けれ盤 遣ふを可きりの 意農ちとも可な

舟尾圭碩先生書

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)



△詩文書▽

「十一月三日」宮沢賢治ノ詩 雨ニモマケズ 風ニモマケズ
雪ニモ夏ノ暑サニモマケヌ 丈夫ナカラダヲモチ

川 上 和 子 先 生 書

※出品券は、半紙をタテにした左下に貼って提出ください。(ヨコ作品の場合も半紙をタテにして同様に貼ってください)

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目は一人一点とする）

△臨書▽

「右払い」の線が顔法を習得する上で大切といえます。文字の形態により、多様な変化を。

聖机 飛毫

蘇水臨

「聖机飛毫」

廣瀬蘇水先生臨

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

△実用書▽

優勝 御祝
佳作 御礼
最優秀賞 祝御入賞
内祝 御贐^{おはなむけ}
記念品 敬呈
敢闘賞 御受賞御祝

姓 号	内祝	優勝	御贐	御祝
	記念品	佳作	敬呈	御礼
	敢闘賞	最優秀賞	御受賞御祝	祝御入賞

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

△手紙文▽

盆踊りの練習に通う子供に
 会った幼い頃浴衣に団扇
 下駄の音を聞きながら家族で
 歩いた光景を思い出さず懐
 かしい夏のひと時だった

盆踊りの練習に通う子供に会いました 幼い頃浴衣に団扇 下駄の音を聞きながら家族で歩いた光景を思い出します 懐かしい夏のひと時でした

兵頭白慧先生書

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目A・Bのいずれか一点のみとする)

書譜

△暮らしに役立つ書▽

残暑お見舞いを申し上げます。
まだ暑さが厳しそうですがお変わりございませんか。エルニーニョ現象で今年の夏は格別です。
あなたの好物の山形メロンを贈りました。どうぞご笑味ください。
時折柄ご自愛くださいませようお祈り申し上げます
小夜子

野のある便箋に書いてみよう。

△ 26 cm × 18 cm ▽

紙質は自由。

・最近、韓国の文字を学びたいとなりました。韓国の文字は難しいけど書に表現するとたのしい様な感じがします。英語もまた書で表現するとおもしろいですね。日本の書の文化の表現の広さに感動します。

※ 本研究社にて「特選便箋」を発売しております。本誌裏面をご参照の上、ご利用ください。

樋口凌雲先生書

中秋の月

小学4年

星ぞくら

小学3年

むぎのほ

小学2年

こめ

ようねん・小学1年

(この課題以外の語句のものもよい。但し、その学年にふさわしい語句が望ましい。)

人権尊重

中学2・3年

人間の尊厳

中学1年

食材研究

小学6年

豊作祭り

小学5年

坂元紫香先生書

△条幅¼Ⅱ四尺画仙紙半折¼Ⅰ：68cm×17・5cm▽

ようねん・小学一年

次号予告「パ
リ」

こめ

□ ふでをかるくにぎって、うでぜんたいで元氣よく、のびやかにかきましょう。

小学二年

次号予告「まんげつ」

おむぎのほ

□ むずびは、ふでの軸だけをまわさないように気をつけましょう。だく点もていねいに。

坂 元 紫 香 先 生 書

小学三年

次号予告「光
」

星ぞら

□ 「星」は「目」と「生」のバランスに注意し、「ぞ」はおれ、「ら」は懷を広く明るめに。

小学四年

次号予告「左
右」

中秋の月

□ 全体を中心に注意し、転折、始筆の強さの変化や線の強弱に気をつけて書こう。

吉 田 成 美 先 生 書

小学 五年

次号予告「もみじ葉」

豊作
祭り

□「豊」は最後の横画を長く。「祭」は中心に気をつけて左右の「払い」をのびのびと。

小学 六年

次号予告「秋の名月」

食料
研究

□四文字の字配りに気をつけて、「はね」「払い」の方向や長さに注意しましょう。

秋 永 春 霞 先 生 書

中学 一年

次号予告「流星」(行書)

人間の
尊厳

□筆の穂先を使って、線の強弱、画数の変化に対応し、明るさのある作品に心がけよう。

中学二・三年

次号予告「挑戦」(行書)

人間の
尊重

□墨をしっかりとつけ、リズムに乗って行書の筆意を意識してのびやかに書こう。

吉 田 成 美 先 生 書

小学二年

ようねん・小学一年

ノ丸 九丸 一サ 昔昔昔黄 ハク 名名名色	段 級	を	で	丸	
	氏 名	見		木	き
		つ	黄	ば	つ
		け	色	し	ね
		ま	い	の	の
		し	バ	た	子
		た	ケ	も	が
		。	ツ	と	

一ね 一オを 一れ	段 級	を	お	を	ね
	氏 名		れ		ず
		あ	い	み	み
		げ	に	て	の
		ま		く	
		し	こ	だ	お
		よ	づ	さ	ど
		う	ち	い	り

坂元紫香先生書

小学四年

小学三年

ノ 勺勺勺 包 一サ 昔昔昔帯 く と 給給給給 (たい)	段 級	お母さんのかたのかばん			
	氏 名	には、包帯、お薬、配給の			
		きつふ、大事な米で作った			
		おにぎりが入っています。			

木 欄 様 様 シ シ 汁 沽 湖 湖 コ コ 弓 引	段 級	との様の国と、となりの			
	氏 名	国の真ん中にある湖の			
		水を、半分ずつ分けて、			
		田に引きたいのです。			

坂元紫香先生書

小学六年

㇀ ㇁ ㇂ ㇃ ㇄ ㇅ ㇆ ㇇ ㇈ ㇉ ㇊ ㇋ ㇌ ㇍ ㇎ ㇏ ㇐ ㇑ ㇒ ㇓ ㇔ ㇕ ㇖ ㇗ ㇘ ㇙ ㇚ ㇛ ㇜ ㇝ ㇞ ㇟ ㇠ ㇡ ㇢ ㇣ ㇤ ㇥ ㇦ ㇧ ㇨ ㇩ ㇪ ㇫ ㇬ ㇭ ㇮ ㇯ ㇰ ㇱ ㇲ ㇳ ㇴ ㇵ ㇶ ㇷ ㇸ ㇹ ㇺ ㇻ ㇼ ㇽ ㇾ ㇿ ㊀ ㊁ ㊂ ㊃ ㊄ ㊅ ㊆ ㊇ ㊈ ㊉ ㊊ ㊋ ㊌ ㊍ ㊎ ㊏ ㊐ ㊑ ㊒ ㊓ ㊔ ㊕ ㊖ ㊗ ㊘ ㊙ ㊚ ㊛ ㊜ ㊝ ㊞ ㊟ ㊠ ㊡ ㊢ ㊣ ㊤ ㊥ ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	段 級	氏 名
	アキアカネは、秋風がふくころ、 山から人里に下ってきます。青く すみ切った空いっぱい群れて 飛ぶ様子は、昔から多くの歌に、 俳句によまれてきました。	

小学五年

㇀ ㇁ ㇂ ㇃ ㇄ ㇅ ㇆ ㇇ ㇈ ㇉ ㇊ ㇋ ㇌ ㇍ ㇎ ㇏ ㇐ ㇑ ㇒ ㇓ ㇔ ㇕ ㇖ ㇗ ㇘ ㇙ ㇚ ㇛ ㇜ ㇝ ㇞ ㇟ ㇠ ㇡ ㇢ ㇣ ㇤ ㇥ ㇦ ㇧ ㇨ ㇩ ㇪ ㇫ ㇬ ㇭ ㇮ ㇯ ㇰ ㇱ ㇲ ㇳ ㇴ ㇵ ㇶ ㇷ ㇸ ㇹ ㇺ ㇻ ㇼ ㇽ ㇾ ㇿ ㊀ ㊁ ㊂ ㊃ ㊄ ㊅ ㊆ ㊇ ㊈ ㊉ ㊊ ㊋ ㊌ ㊍ ㊎ ㊏ ㊐ ㊑ ㊒ ㊓ ㊔ ㊕ ㊖ ㊗ ㊘ ㊙ ㊚ ㊛ ㊜ ㊝ ㊞ ㊟ ㊠ ㊡ ㊢ ㊣ ㊤ ㊥ ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	段 級	氏 名
	クラブ活動、委員会や係の活 動など、みなさんは、さまざま な活動に参加していますね。夏 休みを前に、四月からの活動を 報告書にまとめましょう。	

小 畠 秋 聲 先 生 書

一 般 (A)

㇀ ㇁ ㇂ ㇃ ㇄ ㇅ ㇆ ㇇ ㇈ ㇉ ㇊ ㇋ ㇌ ㇍ ㇎ ㇏ ㇐ ㇑ ㇒ ㇓ ㇔ ㇕ ㇖ ㇗ ㇘ ㇙ ㇚ ㇛ ㇜ ㇝ ㇞ ㇟ ㇠ ㇡ ㇢ ㇣ ㇤ ㇥ ㇦ ㇧ ㇨ ㇩ ㇪ ㇫ ㇬ ㇭ ㇮ ㇯ ㇰ ㇱ ㇲ ㇳ ㇴ ㇵ ㇶ ㇷ ㇸ ㇹ ㇺ ㇻ ㇼ ㇽ ㇾ ㇿ ㊀ ㊁ ㊂ ㊃ ㊄ ㊅ ㊆ ㊇ ㊈ ㊉ ㊊ ㊋ ㊌ ㊍ ㊎ ㊏ ㊐ ㊑ ㊒ ㊓ ㊔ ㊕ ㊖ ㊗ ㊘ ㊙ ㊚ ㊛ ㊜ ㊝ ㊞ ㊟ ㊠ ㊡ ㊢ ㊣ ㊤ ㊥ ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	段 級	氏 名
	ヨーロッパから見れば、日本は南の国 で、東京の盛夏はグアム島と同じ暑さ。 兼好が「あつき頃、悪しき住居はたへ 難き」といつたのは当然。古人は家の中 を吹き抜ける風の道を大切にいた。	

(この課題はA・Bいずれか一点のみとする)

※142%拡大で原寸大になります。

中 学

㇀ ㇁ ㇂ ㇃ ㇄ ㇅ ㇆ ㇇ ㇈ ㇉ ㇊ ㇋ ㇌ ㇍ ㇎ ㇏ ㇐ ㇑ ㇒ ㇓ ㇔ ㇕ ㇖ ㇗ ㇘ ㇙ ㇚ ㇛ ㇜ ㇝ ㇞ ㇟ ㇠ ㇡ ㇢ ㇣ ㇤ ㇥ ㇦ ㇧ ㇨ ㇩ ㇪ ㇫ ㇬ ㇭ ㇮ ㇯ ㇰ ㇱ ㇲ ㇳ ㇴ ㇵ ㇶ ㇷ ㇸ ㇹ ㇺ ㇻ ㇼ ㇽ ㇾ ㇿ ㊀ ㊁ ㊂ ㊃ ㊄ ㊅ ㊆ ㊇ ㊈ ㊉ ㊊ ㊋ ㊌ ㊍ ㊎ ㊏ ㊐ ㊑ ㊒ ㊓ ㊔ ㊕ ㊖ ㊗ ㊘ ㊙ ㊚ ㊛ ㊜ ㊝ ㊞ ㊟ ㊠ ㊡ ㊢ ㊣ ㊤ ㊥ ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	段 級	氏 名
	夜遅く、出窓で見張っていた弟が、 「帰ってきたよ」と叫んだ。茶の間に 座っていた父は、はだして表へ飛び 出した。防火用水おけの前で、やせ た妹の肩を抱き、声を上げて泣いた。	

小 畠 秋 聲 先 生 書